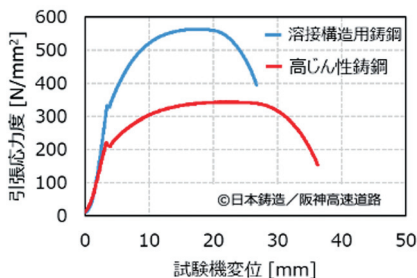


日本鑄造 高靱性鑄鋼を用いた橋梁用変位抑制装置 阪神高速道路と共同開発

日本鑄造は28日、高靱性鑄鋼を用いた損傷制御型変位抑制装置「DCストッパー」を阪神高速道路と共同開発したと発表した。既設橋の支点部の耐震補強に使用する水平力分担装置で、この装置を

既設橋に追加設置することにより、大規模な地震が起きても支承が壊れにくくなり、仮に壊れたとしても粘り強い抵抗力を発揮する。高靱性鑄鋼は、一般的な溶接構造用鑄鋼と比較して材料強度が低く、かつ伸び性能に優れる。

DCストッパーは、この材料特性を生かし、地震により上部構造に作用する水平力に対して確実かつ粘り強い抵抗力を発揮する。既設支承の近く、例えば横桁に追加で設置することにより既存支承を守り、大規模な地震が起きても大きな段差を生じさせないように役目を果たす。



高じん性鑄鋼と溶接構造用鑄鋼の材料引張試験結果

阪神高速道路は点検や維持管理の高度化へ新技術の導入を進めており、日本鑄造との共同開発もこの一環。